



ローザ・つづきく

5月号

里山便り

令和8年5月31日 第285号

発行：特定非営利活動法人 都筑里山倶楽部 理事長 志田 政明
〒224-0032 横浜市都筑区茅ヶ崎中央57-8 Tel& Fax 045-941-0987

横浜フラワー&ガーデンフェステ2026 5/2~4 (土~月)

5月のGWにみなとみらいで「横浜フラワー&ガーデンフェスティバル2026」が今年も開催されました。来年横浜市旭区・瀬谷区で催される国際園芸博覧会にむけ最後の展示となりました。都筑中央公園の竹林の竹を使った竹細工や、炭焼きで生産された炭製品、天然ハチミツの紹介しました。そして倶楽部の活動内容や年間行事をお伝えできたと思います。 M.Y.



イモの年間コース (ジャガイモの追肥と土寄せ) 5/9 (土)

新緑と青空と風薫るさわやかな朝を迎えました。年間コース7組全員がそろい作業の開始です。

まずは畑の草取り、そして鍬とシャベルを使って既にかなり背の高くなったジャガイモの根元に土を盛っていきます。3月初旬に植付けしてから7月初旬の収穫までのちょうど中間点、土の中では子芋がたくさん育っている？

次の作業は、収穫後の畑に植えるマリーゴールド(線虫対策のためのコンパニオンプラント)をポット植えしました。最後は、シイタケの植菌です。時期としてはかなり遅めですが、3月に伐採されたコナラのホダ木があるので、ドリルで穴を開けカナヅチでトンとトン。盛りだくさんでしたが季節もよく気持ちのいい作業を終えました。 M.S.



米作り体験・代かき 1/4回目 5/10 (日)

稲作体験は、今年から4回に分けて一年間を通して稲作を体験するコースに改めました。

普段おうちで食べているお米が、どうやって収穫されるのかを昔ながらのやり方で楽しんで学んでいきます。

今回は第1回目。田んぼや畔の草取り、田おこしからスタート。自分の背丈ほどある鍬を使い田んぼを耕して土に空気を入れます。天気に恵まれた猛暑の中、16組31名のご家族が参加されました。今日のごはんは感謝して食べます。といってくれるお子さまもいました。秋には黄金色の稲を見るのが楽しみですね。 M.S.



米作り体験・田植え 2/4回目 5/30 (土)

五月晴れ、今年も田植えの季節がやってきました。年間米づくりコースの参加者が2班に分かれて、まずは汚れてもいい靴下をビニール紐で足にくくりつける準備から始めます。その後、田んぼに入りみんなで一列になって田植えの開始です。3本ずつの苗の根元をつまんで、真っすぐ立つように泥土のなかに差し込んで、そうそう、やればやるほど調子が出て上手なってきました。田んぼの半分まで終わったら次の班と交代、水道で汚れを洗い流します。ころんで泥だらけになった服や靴下はいい色合いの泥色に染まりました。

田植えをしながら見上げた青空や、植えたばかりの苗が風でゆらゆら、足裏で感じたグニュっとした気持ち良いのか悪いのか、そんなことあんなこと楽しい体験でした。 M.S.



ジュニアくらぶ 代掻き体験 5/10 (日)

今年のジュニアの稲作も初めからやります。

まずは代かきですが、今日はその準備の草刈りと田おこしです。代掻きは水をはった田んぼをとろとろにする作業ですが、機械が動きやすくするための作業を皆んなでやりました。次回は田植えです。

T.H.



田植え体験 5/31 (日)

代掻き準備から3週間。ヤマアカガエルの救出を行って、田植えを行いました。秋の稲刈りが楽しみです。気になったのは既にカエルになってしまったのかオタマジャクシが少なかったことです。 T.H.



ローザ・つづきくバラまつり2026 5/17 (日)

最高に良い天候に恵まれての開催となりました。今年も桜の広場を第二会場として開放し、円形広場との2会場で開催しました。桜の広場には、高さ6メートルの竹のピラミッドを中心にハンモック体験、竹の弓矢のシューティングゲームを開催。円形広場でステージパフォーマンスと模擬店が人気を集めました。こちらにも出演者とお客様が一体となり大いに盛り上がりました。模擬店の販売は、昨年度より販売数を増やしたり、新たな「里山メンマ」の販売など、非常に盛況となりました。販売金額から想定した来園者は4,500人と昨年を大きく上回りました。



ご来賓として今年も佐々田都筑区長がお越しいただき「ローザ・つづきく」の由来についてご説明していただきました。いつもありがとうございます。また、会場でのお手伝いには、茅ヶ崎中学校おやじの会のメンバーや茅ヶ崎中央町内会から助っ人に来てくれました。ご協力ありがとうございました。このように毎年多くの方々に支えられての開催で、我々も精一杯頑張ってお来園者の方々に喜んでほしいと思っています。

秋には、「里山まつり」を開催します。喜んでいただけるようしっかり準備してまいりますので、また「里山まつり」でお会いしましょう。 K.M.



佐々田都筑区長



EXPOは来年!



初夏の野鳥観察会 5/24 (日)

天気はくもりのち晴れ、参加者23名で観察会を開催しました。まず講師より会議室で、野鳥の探し方や今観られる野鳥について説明を受けた後、レストハウスの前で、双眼鏡の使い方、見つけるコツについて説明を受けました。これでバッチリ！公園に出かけました。大池では、水面に浮かぶ巣でカイツブリが子育ての真っ最中。3羽の子供たちを育てているところを双眼鏡で観察しました。早淵川では、夏鳥のツバメ、イワツバメが上空を飛び回っていました。その他シジュウカラ、ヤマガラ、カワラヒワなど23種の野鳥を観察しました。初夏の1日、楽しい観察会になりました。 T.N.



歴史未来フェス 5/23~24 (土~日)

昨年に続き横浜市歴史博物館一帯で開催される「歴史・未来ふえす」に参加させていただきました。我々は、歴博入口横に、紙芝居さんたちと出展させていただきました。竹細工・竹炭製品、ハチミツ販売や里山メンマの販売、カエルのカスタネット、ぶんぶんゴマ、竹トンボの色付け体験などを通して「都筑中央公園」のアピールをしてきました。

この2日間は歴博の展示が無料で見られることもあり、非常に盛況でした。まだまだ都筑区民でありながら、都筑中央公園は知っているが行ったことがないという方も結構いました。我々のアピール不足を痛感しました。しかし、体験コーナーは一日中お客様が途切れることなく非常に盛況でした。

これら体験イベントを通して、もっともっと都筑中央公園の良さ、楽しさを宣伝していきましょう K.M.



ことさんちフェスタ 5/9 (土)

センター北のボッシュホールにて第一回ことさんちフェスタに出店しました。竹細工のカエルのカスタネットはすぐに完売となり大盛況でした。



大池の生き物観察会 5/31 (土)

当日の天気はくもり、参加者37名で観察会を開催しました。参加者の皆さんは、釣り竿、餌、バケツ、網かごを手に、大池に向かい、釣り糸を垂れ、網かごを仕掛けました。ザリガニ、スジエビ、小さな魚が採れました。ザリガニ釣り終了後、大池で採れたオイカワやモツゴなど、早淵川で採れたテナガエビやスミウキゴリなどを観察しながら、講師より解説がありました。

早淵川では、その他にギギという魚が採れたということで、この魚は、近畿地方以西に生息するもので関東にはいない国内外来種とのことです。また、投網の実演や小型の定置網を使った魚の取り方等について解説がありました。 N.T



炭焼き

たたら製鉄用の木炭作りに集中してしばらくお休みしていた竹炭焼きを、今年の1月以来4か月ぶりで行いました。今月の一般参加者は、ボランティア体験応募2名、一般体験参加者1名。窯詰め、窯出しなどの作業と一緒にさせていただきました。

また、月末には、昨年から実施しているシリーズ「たたら製鉄講座」(炭焼部会が主導して企画)の3回目として永田式たたら炉を組立てて鉄塊を作る実験実習を行いました。5月は「ローザつづきくバラまつり」をはじめ、外部イベントなども多く、炭焼き以外の作業にも会員で分担して取り組みました。



窯詰め

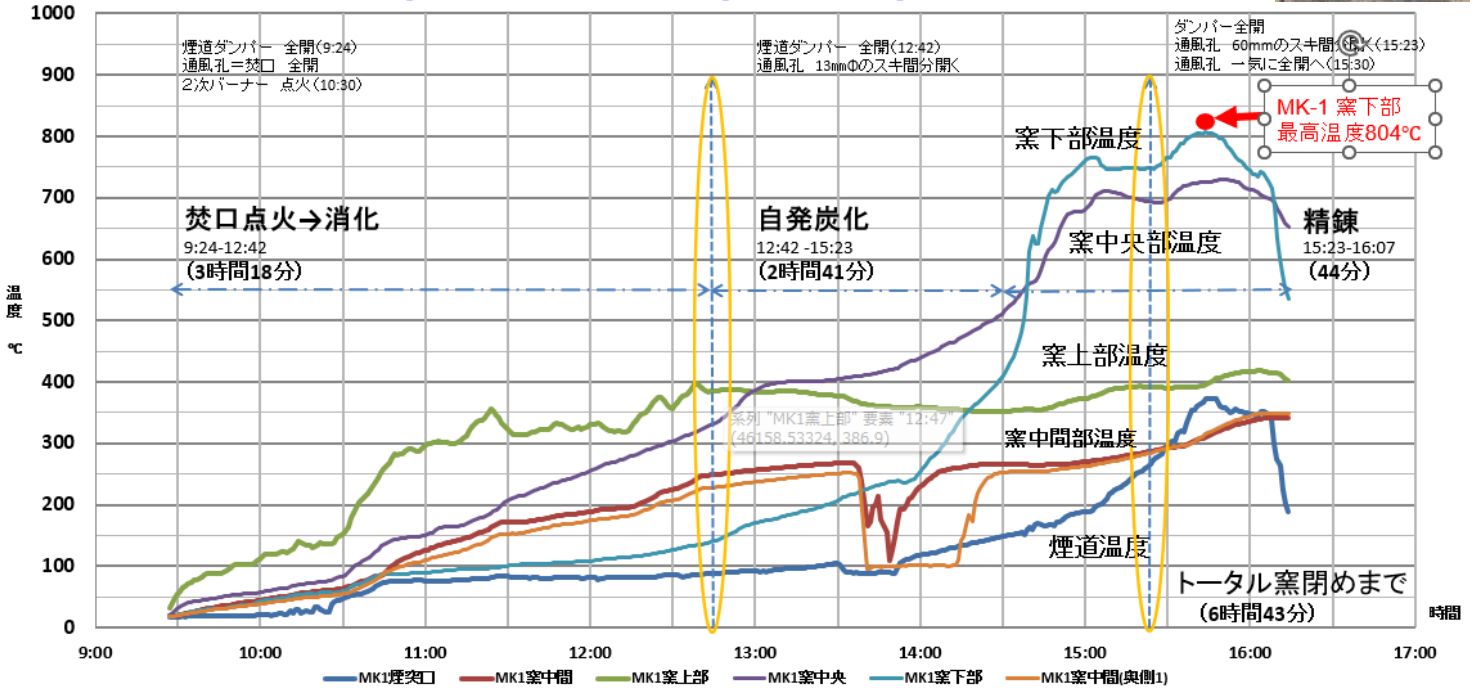


窯出し

2026年5月16日(土) 宮谷戸 MK-1改修窯 竹炭焼き結果

第266回(窯改修後24回目) 炭焼き、気温 18.5°C、天気 晴れ

炭材:長さ68cm 長寸 (伐採日 2025年2月5日 3年以上の成長竹 3月15日竹割) 乾燥日数(割竹)427日(37.5%重量減)
入炭材量: 57.6 Kg 採取竹酢液: 8.7 L 出炭量: 15.66 Kg (27.2%) 良品: 7.2 Kg (12.5%)



ドラム缶窯(MK-1)による木炭焼き 16日(土)

炭材:長さ68cm(伐採日 2025/2/5、竹割日3/15)乾燥日数:竹割後427日(1年2ヶ月)
[入炭量]57.6 kg(乾燥減量:37.5%)[出炭量(率)]15.66 kg(27.2%)[良炭量(率)]7.2 kg(12.5%)
バラ炭/袋①4.51 kg 袋②4.09 kg 合計 8.60 kg [採取竹酢液]8.7 L

第3回「たたら製鉄講座」たたら製鉄製造実習

5/31(日)9時~17時 場所:宮谷戸窯敷地内
一般参加者:5家族、8名(子供2名)

朝9時から永田名誉教授の指導のもと参加者全員で永田式たたら炉を組立て、たたら製鉄実習を行いました。20Kgの砂鉄、80Kgの竹炭/木炭を使用して、ノロ(スラグ)と5Kgのケラ(鉄塊)を取り出すことができました。次回は6/28に鍛冶実習を行う予定です。



6月7月 行事予定

月	日	曜日	行 事	時間	集合場所	参加費	
6	6	土	里山保全体験(竹林の手入れ・竹細工)	9:30 ~ 12:00	ばじょうじ谷戸休憩舎	300/100	
	7	日	初夏の昆虫観察会	9:00 ~ 12:00	レストハウス2F	300/100	
	13	土	防災キャンプ(泊り)	13:30 ~ 20:00	展望広場	3000/1000 (1泊)	
	14	日	防災キャンプ	6:00 ~ 11:30			
	20	土	里山ウォークラリー	10:00 ~ 15:00	円形広場	200	
	27	土	イモの年間コース(サトイモの追肥と土寄せ)	10:00 ~ 12:00	ばじょうじ谷戸休憩舎	-	
	27	土	夏のキノコ観察会	9:00 ~ 12:00	レストハウス2F	300/100	
	28	日	ネイチャークラフト作り	10:00 ~ 15:00	円形広場	500	
	13	土	炭焼き(窯詰め、炭材作り) 3回コース	9:00 ~ 12:00	宮谷戸炭焼施設	3回 1000	
	20	土	炭焼き(火入れ、炭焼き) 3回コース	9:00 ~ 17:00			
	27	土	炭焼き(窯だし、炭材作り) 3回コース	9:00 ~ 12:00			
	20	土	炭焼き(火入れ、炭焼き)特別プログラム(風鈴)	9:00 ~ 11:30			300/100
	28	日	炭焼き(たたら製鉄講座4回目 鍛冶体験ペーパーナイフ作り)	9:00 ~ 17:00			1000
7	4	土	イモの年間コース(ジャガイモの収穫)	10:00 ~ 12:00	ばじょうじ谷戸休憩舎	-	
	12	日	草木染め	13:00 ~ 15:00		800	
	18	土	昆虫博士養成講座(第一回)	9:00 ~ 15:00	レストハウス会議室	参加費2000 保護者600	
	19	日	昆虫博士養成講座(第二回)	9:00 ~ 15:00			
	25	土	夜の昆虫観察会	18:30 ~ 21:00	レストハウス2F	300/100	
	18	土	炭焼き(華炭作り)	9:00 ~ 12:00	宮谷戸炭焼施設	300/100	

<応募方法> 行事開催10日前までに一行事ごとに HP または往復はがきで参加者全員の氏名・年齢・住所・電話番号を記入してお申し込み下さい。申し込み多数の場合は抽選になります。抽選の結果は行事の1週間前までにご連絡致します。HP <https://tzksatokura.org/> お問い合わせ tsuzuki-park@tmtv.ne.jp



日	曜	作業予定 9時-12時	13時-17時
2	火	(D)園路の笹刈り、梅林~ドウダンツツジ	
4	木	(G)サツマイモの植付け	
9	火	(A5)笹の条刈り (B1)竹林の整備、竹チップの準備	
11	木	(H)バラ花壇、花柄摘み、除草、消毒、追肥	
16	火	(A4)笹の条刈り	
18	木	(B2)竹林の整備、竹細工の日	
23	火	(H)バラ花壇、花柄摘み、除草、消毒	
25	木	(園内)パトロール、(I-①): 部会会議	
30	火	(A3)笹刈り	

日	曜	作業予定 9時-12時	第2土曜のみ17時
10	水	・火入れ用炭材計量と宮谷戸窯への移動 ・竹細工 ・竹酢液の蒸留(1回目)	
12	金	・竹ピラミッド&竹コップ用竹材の伐採	
13	土	・窯詰め(MK-1使用、竹炭) ・蛙のカスタネット組立て 防災キャンプ/火起こし他	
17	水	・竹細工 ・竹酢液の蒸留(2回目)	
19	金	・煙突設置・料理準備 ・特別プログラム(竹炭風鈴)の準備状況確認	
20	土	・火入れ(MK-1、竹炭) ・特別体験プログラム/竹炭風鈴&華炭作り ・竹酢液のボトル詰め 里山ウォークラリー2026/竹割り他	
24	水	・竹細工(蛙、一輪挿し、スマホスピーカー他)・たたら鍛冶準備	
26	金	・煙突撤去・清掃 ・宮谷戸窯周辺の草刈り	
27	土	・窯出し(竹炭)・選別・研磨・翌月(7月)の予定表配布・説明	
28	日	たたら製鉄講座4回目 鍛冶体験ペーパーナイフ作り	

里山のめぐみ

- 竹炭 (港北ニュータン袋入り) 300円
- パラ炭 袋入り 750g / 300円
- 5 Kg / 1200円
- 竹酢液 濾過品 2L / 500円
- 蒸溜品 500 ml / 500円
- 竹細工各種 200円~
- 青竹材 200円 / 1m